



## 川俣町を100倍 すてきにする方法

福田小学校6年生が提案

9月28日、福田小学校6年生から川俣町へ町の環境問題に対する提案文が提出されました。提案文は、国語科の授業の中で作成されたもので、「川俣町を100倍すてきにする方法」として川俣町の環境汚染や食品ロス等の問題に対して6年生全員の提案をまとめたものになっています。完成した提案文は12月末まで川俣町役場1階ロビーに展示中です。



◁(右から)6年生代表の佐藤翔真さん、佐藤菜々美さん

▽寄附をする小林氏と佐藤町長



## コロナ禍で頑張る子どもたちへ 株式会社小林が教育興基金を寄附

9月25日、株式会社小林の代表取締役である小林<sup>じん</sup>仁<sup>いち</sup>氏が来庁し、教育振興基金として川俣町に寄附をしました。創業100周年を記念した事業の一つとして川俣町の教育のためにと寄附を決めたということ。小林氏は「コロナ禍という大きな変化の中で頑張る子どもたち、そして先生など教育従事者の皆さんのために少しでも役に立てればと思います」と話してくれました。

▽お母さんとおそろいの髪形に嬉しそうな愛衣ちゃん！



## 私が髪を伸ばす理由 知っていますか？ヘアドネーション

小児がんや脱毛症、不慮の事故などにより髪がない子どもにウィッグやカツラに使用する髪を無償で提供する活動「ヘアドネーション」。古川<sup>めい</sup>愛衣ちゃん(道内)は、病気で髪がない自分と同年くらいの子供達がいることを知り、ヘアドネーションをするため、初めて髪を切りました。半年前に母の弘子<sup>ひろこ</sup>さんもヘアドネーションをしており、親子そろっての参加となりました。

## 青空の下、開催！ 目指せ自己ベスト

### 第40回川俣町小学校陸上競技大会

9月30日、40回目となる川俣町小学校陸上競技大会兼第2回川俣町・飯舘村小学校陸上交歓会がいたてスポーツ公園で開催されました。今年は新型コロナウイルス感染症対策として競技中以外はマスクを着用しての開催となりました。子どもたちは日頃の練習の成果を発揮しようと真剣な眼差しで競技に挑んでいました。選手の皆さん本当にお疲れ様でした。



▷力強い跳躍！かっこいいですね！

▽受賞報告をする（左から）<sup>まさのぶ</sup>遠藤政信さんと<sup>やすひこ</sup>菅野泰彦さん



## 快挙！川俣町で初受賞

### 第61回福島県農業賞復興創生特別賞

9月9日、福島県内の農業分野の賞で最も権威のある第61回福島県農業賞の受賞式が行われ、山木屋地区で休耕地などを利用して飼料作物や水稻を生産している農事組合法人ヒュッテファームが復興・創生特別賞を受賞しました。復興・創生特別賞は東日本大震災と原発事故からの農業復興と再生をけん引する生産者を顕彰する賞で、川俣町では初めての受賞となりました。

▽今回の献立は川俣シャモの唐揚げでした！



## 地元の食材を食べよう！

### 給食の献立に川俣シャモが登場

町の特産品である川俣シャモについて学び、食することにより、その品質の高さや安全性を理解することを目的として、川俣シャモを使用した給食が提供されました。富田小学校6年生の和田大世<sup>たいせい</sup>さんは「とてもジューシーで美味しかったです。また給食で川俣シャモを食べれることを楽しみにしています」と川俣シャモを食べた感想を話してくれました。